



去る1月28日に、「沖縄の基地負担軽減を図るための決議」を可決した山口県周防大島町議会議員団（16名）が本市を訪れ、市議会の基地問題に対する取り組みについて、議長、副議長及び基地関係特別委員会委員と活発な意見交換が行われました。

ぎのわん 第94号

# 市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号  
電話 (098) 893-4411 (内337)  
印刷 合同会社正美堂印刷所



米軍ヘリAH-1Wの装備品落下事故に関して、井上沖縄防衛局長へ要請する宜野湾市議団

## 定例会の経過

12月	3、5日	議会運営委員会
	5日	議会改革に関する調査特別委員会
	5日	会期の決定、案件上程、説明
	9日	上程案件に対する質疑、委員会付託
	10～12日	各常任委員会議案審査
	16日	中間表決(委員長報告)
	17～19、22日	一般質問 (質問者19名)
	22日	議会改革に関する調査特別委員会
	24日	各常任委員会の審査報告及び表決

福寿園、平成27年4月から**民営化**へ  
関連議案を賛成多数により可決!!  
(反対8名)

12月  
**定例会**

会 期  
12月5日～12月24日

第387回宜野湾市議会定例会は、12月5日から12月24日までの20日間の会期で開かれました。

今定例会は、宜野湾市特別養護老人ホーム等の設置に関する条例及び宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計条例を廃止する条例のほか、手数料及び使用料の見直しに係る関係条例の整備に関する条例の制定を含む32件にわたる議案等が審議され、19名の議員による一般質問も行われました。

## 福寿園関連議案に対する討論（要旨）

## ○反対討論

- ・建物、備品の無償譲渡に対して、税金で建設されている以上、国、県、市の財産であり、建物及び備品の売却額もしっかり受け取るべきである。
- ・市民に対しては手数料等を上げる一方、一業者に対して、3億円以上の財産を無償譲渡することは市民に対し説明ができない。
- ・土地の売却金を福祉目的の基金に積み立てるとのことだが、基金目的が曖昧で、経常的な費用に取り崩されないか懸念がある。
- ・民間譲渡ありきで進められており、市政の福祉に対する軽視、福祉の切り捨てであり、十分に議論が尽くされていない。

## ○賛成討論

- ・福寿園の民営化に当たり、最優先する点は、入所者に対する尊厳であり、これまでのサービスを低下させてはならない。
- ・一般会計で負担する人件費を考慮しても民営化後の平成28年度から黒字に転じ、平成35年度ではさらに大きくなっていくことが検証されている。
- ・移管先の選定は、慎重に行っており、これまでの実績から、周辺地域及び市との連携による支援体制や地域貢献など、市全体の社会福祉につながるものと期待される。
- ・福寿園職員は、市の介護保険事業を拡充強化していくための貴重な人材として配置可能である。
- ・市有地については、評価額に上乗せする形で公募しており、最低譲渡価格が9,400万円も上乗せがあり、財政効果が大いにあらわれている。



審査では、福寿園建物と備品の無償譲渡について質疑がなされ、資産総額約七億二千万円で有償譲渡することも考慮したが、老人福祉サービスのノウハウを持つ有望な事業者の参加を狭めてしまい、移譲後の事業運営に支障を来す懸念があり、サービス向上の

観点から事業者の負担が大きいと判断し、無償譲渡に至ったとの答弁がなされた。

また、民営化による行財政効果についても質疑がなされ、建物、備品の無償譲渡や諸経費によって一時的な赤字を生じるが、民営化後の平成二十七年から福寿園運営に係る実質赤字額の解消を見込んでおり、財政効果があらわれるとの説明がなされた。

そのほか、契約相手方の決定の経緯、民営化後の福寿園職員の処遇や会計上の管理及び市の役割、起債の返済についても多くの質疑、提言がなされた。

表決は、賛成多数（賛成十七、反対八）でそれぞれ原案可決、同意された。

福寿園の設置及び特別会計を廃止する条例、建物及び市有地の処分について

可決・同意

十二月定例会主な議案の審議経過

## 手数料・使用料の見直しに関する条例に対する討論（要旨）

## ○反対討論

- ・本市では行政診断のもと、各施設に指定管理者制度を導入したばかりであり、その評価もしない中で、受益者負担の原則だけで市民に負担を強いることは理解が得られるものではない。
- ・教育、福祉部門の手数料、使用料は下げても、上げるべきではない。
- ・普天間飛行場が返還後、インフラ整備が十分に行われ、県内景気が好転するまでは改定の必要はない。

## ○賛成討論

- ・使用料は一部見直しがあったものの、手数料は昭和58年に改定された後、31年間も見直しがされていない。
- ・他市町村の類似施設との比較、料金の改定上限率を設けるなど、受益と負担の公平性も確保されている。
- ・本市の財政状況は非常に厳しい中で、今後は施設の老朽化による建てかえや修繕等、維持費もかなりの規模で必要になってくる。
- ・地方交付税等の増額も望めない現状から、今こそ行財政改革の遂行が必要であり、今回の見直しは自主財源確保にもつながる。

手数料・使用料の見直しに関する条例の制定について

議案の内容は、本市使用料・手数料の見直しに関する基本方針に基づき増額するため、関係条例の改正を行う内容である。

審査では、使用料・手数料の見直しに係る経緯について質疑がなされ、これまで二十年以上も抜本的な見直しを行

可決

っており、この間のコスト増や他市町村との比較など、さまざまな事情等を勘案した上で今回の見直しに至っているとの答弁がなされた。

また、使用料・手数料の値上げが市民生活に与える影響については、受益者負担を前提としつつも、改定に係る上限率や上限額を定め、過度な負担増にならないよう配慮し

た内容になっているとの説明がなされた。

議員からは、子供や高齢者、障害者等によって使用目的もさまざまであり、コスト意識ばかりが重視された一律の値上げはするべきではないとの指摘もなされている。

表決は、賛成多数（賛成十七、反対八）でそれぞれ原案可決された。

活用できる補助金がなく、当該交付金による土地取得は効率的な活用方法と考えているとの説明がなされた。

議員からは、基地内の土地先行取得は別枠で国に要求し、一括交付金はより多くの市民が恩恵を受けられる事業に充当すべきとの指摘もなされている。

また、反対討論として「基金の取り崩しが多く、急激な政策変更が結果として市民に負担を強いる財政運営となっている」との意見も出された。

表決は、賛成多数（賛成十七、反対八）で認定された。

## 平成二十五年年度一般会計歳入歳出決算の認定

認定

決算の内容は、歳入総額四百十九億二千五百五十四万七千六百八十九円、歳出総額四百四億二千六百八十五万八千四百八十六円である。

審査では、一括交付金の多くを特定駐留軍用地内土地取得事業基金積立事業に充てられている理由について質疑がなされ、基地返還後に公共用地を取得する場合、現行では

## 第386回臨時会

十一月二十八日に開かれた臨時会では、平成二十六年人事院勧告及び沖縄県人事委員会勧告に鑑みて、国、県並びに他市町村の状況等も考慮し、職員の給与を平均〇・三％、期末手当を〇・一五月分引き上げ、また、平成二十七年度より勤勉手当を導入する条例改正案と、それに伴い人件費を増額する三件の補正予算が提案された。

表決に当たっては、全会一致でそれぞれ原案可決され、そのほか、三件の専決処分の報告もなされた。



○市 長 佐喜眞 淳  
○副 市 長 松川 正則  
○教 育 長 玉城 勝秀  
○水道事業管理者 外間 伸儀  
○総 務 部 長 知名 朝祐  
○企 画 部 長 和田 敬悟  
○基 地 政 策 部 長 伊 佐 徳光  
○福祉推進部長 國吉 秀子  
○健康推進部長 喜舎場 宏  
○市民経済部長 米須 清盛  
○建設部長 黒澤 伸行  
○教育部長 宮城 光徳  
○指導部長 石川 正信  
○消防 長 浜川 秀雄  
○選 管 委 員 長 喜瀬 昭夫

○市 長 佐喜眞 淳  
○副 市 長 松川 正則  
○教 育 長 玉城 勝秀  
○水道事業管理者 外間 伸儀  
○総 務 部 長 知名 朝祐  
○企 画 部 長 和田 敬悟  
○基 地 政 策 部 長 伊 佐 徳光  
○福祉推進部長 國吉 秀子  
○健康推進部長 喜舎場 宏  
○市民経済部長 米須 清盛  
○建設部長 黒澤 伸行  
○教育部長 宮城 光徳  
○指導部長 石川 正信  
○消防 長 浜川 秀雄  
○選 管 委 員 長 喜瀬 昭夫

一 般 質 問

今定例会は、19名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

ごみ減量化の取り組みについて

比嘉憲康 議員

○議員 去年の三月に宜野湾市廃棄物処理基本計画を改定しているが、過去五年間のごみ減量化の数値目標の達成状況についてお聞きしたい。

○市民経済部長 平成十八年度から平成二十三年度までの実績では、事業系ごみが約二〇％の減量、資源化率が約二〇％向上し、当初の目標を達成している。一方、家庭ごみは一日一人当たり五十グラム、約一〇％の減量を目標に掲げるも、平成二十四年三月までに平均十三グラムで二六％の達成率、昨年度は二十一・四グラムで四二・八％の達成率となっている。

○議員 目標達成のために学校現場でも、ごみ減量化への取り組みやわかりやすいイラスト等を活用して指導パンフレットを作成するなどの啓発・啓蒙活動に工夫を凝らしてはいかがか。

○市民経済部長 子供たちに循環型社会の構築に向けた啓発・啓蒙活動を今後研究していきたい。



真志喜・宇地泊線とマリーナ通り線との交差点

真志喜・宇地泊線とマリーナ通り線の交差点改善について

濱元朝晴 議員

○議員 当該交差点は交通量も多く、事故が多発している危険場所のため、現場確認を実施しているのか伺いたい。

○市民経済部長 ことし五月に宜野湾警察署、道路管理者、市の建設部と現場に行き、交通安全対策を協議した。また、十二月十五日の現場確認により、横断歩道や停止線の白線の引き直し要請を宜野湾警察署へ予定している。

○議員 市は六月に注意、一時停止の反射板を設置し、関係部署との連携を図っているが、真志喜区、宇地泊区の両自治会からの信号機設置の要請に対し、どのようにお考えか。

○市民経済部長 今年の五月、両自治会の連名で当該交差点への信号機設置の要請を受け、六月に宜野湾警察署へ設置要請を行い、信号機設置の予定であるとの情報を得ている。

○議員 設置の情報を聞いて市民も安心して利用できると思うので、早期の信号機設置を期待したい。

市民図書館の増設と移動図書館の充実について

宮城勝子 議員

○議員 移動図書館の利用状況について、伺いたい。

○教育部長 直近四年間の平均で、年間の利用者数が一万二百六十三人、稼働日数は二百三十六日である。また、二十四所所の巡回先を隔週で巡回しており、伊佐区、大山区の地域が利用率は高い。

○議員 移動図書館が実施されて、十年以上になるが、利用者の多くは図書館から距離

○議員 受け入れ園児の増加による幼稚園教諭の不足について、どのようにお考えか。

○指導部長 新制度に伴い、預かり保育の拡充や幼児期からの特別支援教育を希望する保護者も多いことからさらなる職員不足が見込まれる。今後の取り組みとして、預かり保育や特別支援担当職員にはヘルパーや補助教員、パートの導入も検討している。

○議員 幼稚園教育は人材形成の基礎となる大切な時期のため、運営に支障を来さない体制づくりをお願いしたい。

預かり保育等の取り組みについて

屋良千枝美 議員

○議員 現在各園一クラスの定員は二十名だが、子ども・子育て支援新制度による次年度の幼稚園の預かり保育の受け入れと担当教諭配置の体制について、伺いたい。

○指導部長 次年度の預かり保育の受け入れ状況は、全九幼稚園で合計二百四十六名を予定し、担当教諭配置状況は二十名に一人の職員を配置し、二十名毎に一人の追加配置を

ひとり親世帯への  
支援について

桃原 功議員

◎**議員** 本市はひとり親世帯に対し、どのような支援をしているのか。

◎**福祉推進部長** まず児童扶養手当の支給、母子及び父子家庭等医療費助成制度、沖縄国際大学福祉・ボランティア支援教室と協働実施による、ひとり親家庭の児童に対する学習支援活動、宜野湾市ファミリー・サポート・センター子育てサポート券等の支援を

行っている。

◎**議員** ひとり親世帯の児童に対する学習支援について大いに評価したい。ぜひ、このような公的支援の選択肢をふやし、支援をしてほしい。また、非婚の母子世帯における寡婦控除や寡婦控除のみなし適用について、伺いたい。

◎**福祉推進部長** 所得税や住民税の寡婦控除は婚姻していることが前提条件だが、保育料の算定は、寡婦控除をみなし適用し、算定している。

◎**議員** 非婚でも既婚の母子世帯と同様な支援を引き続きお願いしたい。

長田三丁目地内への  
コンビニエンスストア  
建設について

米須清正議員

◎**議員** 長田三丁目地内で、コンビニエンスストアの建築許可申請が提出されているが、当該コンビニエンスストア建設予定地は、第一種低層住居専用地域内に位置し、用途規制上、建設することができないとある。しかし、建築基準法上、良好な住居の環境を害するおそれがない場合は、宜野湾市が建設を許可できるとされている。そこで、当該コ

ンビエンスストア建設に係る利害関係者に対する公聴会の開催や、自治会から要請がなされているが、市としてはどのような対応を検討されているのか、お伺いしたい。

◎**建設部長** 公聴会での意見や自治会からの要請については、設計上どのような内容が反映できるのか、申請者と協議を行っている。

◎**議員** この地域は長田区の中心となる場所であり、また自治会からも要請がなされていることから、引き続き申請者と協議を行い、対応策をぜひ講じていただきたい。

喜友名グスクの発  
掘調査及び喜友名  
泉の補修について

知念秀明議員

◎**議員** 喜友名グスクの発掘調査の予定について伺いたい。

◎**教育部長** 次年度以降に実施する予定であり、それに基

づき、保存方法等を地域の皆さんと検討してまいりたい。

◎**議員** 喜友名泉の補修工事の内容についても伺いたい。

◎**教育部長** 台風時の増水による石積み部分の毀損を防ぐため、コンクリート擁壁を築造し、泉に流れ込んでいた流

水を外部に逃がすことで環境保全を図ってまいりたい。

◎**議員** 文化財は、先人から受け継いだものを、そのままの形で次の時代に残していくべきと考えている。コンクリート擁壁をつくるのではなく、そのままの形に戻してほしいと考えるが、いかがか。

◎**教育部長** 景観上の問題については、文化財保護審議会等の指導も仰いで計画しており、景観保全についても最大限の努力をしてまいりたい。

◎**議員** 区民や次の世代の方々も大変喜ぶものと考えてる。ぜひ、よろしくお願いしたい。

国指定重要文化財「喜友名泉」  
（チャンナガー）文化行政（芸能関係）  
の振興策について

伊佐哲雄議員

◎**議員** 市文化協会主催の公演等に対する市のかかわり方について、伺いたい。

◎**教育部長** 市文化協会を含む社会教育団体に対しては、自主性を尊重しつつ、積極的に助成を行い、今後も支援を

してまいりたいと考えている。

◎**議員** 文化祭出演者の意見として、観客が少ない印象のため、観客をふやす工夫をするなど、芸能活動の普及にも

つと取り組んでいただきたい。また、チャリティー公演等に市幹部の方々が出演することで、市民の行政に対する親しみが沸いてくるのではないかと考えているが、いかがか。

◎**副市長** 市幹部職員が出演し、文化に触れ合うことで盛り上がりが出ていくことは理解するが、あわせて議員諸公の皆様方とも出演について検討させていただきたい。

◎**議員** 市幹部職員の方々も積極的に文化祭、芸能祭へ出演していただき、いろいろな芸能に親しんで、ぜひとも御指導、御協力をお願いしたい。

住宅改修等の  
支払い方法  
について

上地安之議員

◎**議員** 住宅改修工事の実績等について、お伺いしたい。

◎**健康推進部長** 平成二十一年度においては、支給件数が百二十件、実績額が約千二百五十六万円に対し、平成二十

五年度は、支給件数が二百四件、実績額が約二千九十五万円となっている。

◎**議員** 需要がかなりふえていることが数字から示されているが、当該改修工事に係る

支払方法は償還払いとなっている。そこで、受領委任払い方式への変更について、次年度から実施をする予定であるのか、お伺いしたい。

◎**健康推進部長** 高齢者が在宅で安心して暮らせるよう、また、介護する家族の負担が軽減できるような支援をしていくことが大切だと考えており、住宅改修工事における受領委任払いについては、次年度の四月実施に向け、現在準備を進めているところである。

◎**議員** ぜひとも市民から喜ばれる制度として活用方を推進していただきたい。





いこいの市民パーク内の多目的広場

## 公共施設の芝生養生と維持管理について

我如古盛英 議員



◎議員 ながた児童公園やいこいの市民パークのゲートボール場の芝生について、どのように維持管理しているのか。

◎建設部長 当該公園の多目的広場の維持管理状況は、一般的な芝広場の工程表に基づき維持管理している。また、維持管理は手間と費用を要することから、地域や利用者の協力を得ながら、一体となって取り組んでいく体制づくり

を行いながら、芝の改善に向けて取り組んでまいりたい。

◎議員 市民広場は、少年野球やゲートボール等、幅広い層に利用されているが、雑草の侵入がひどく、何らかの対処が必要ではないか。

◎総務部長 市民広場は、年に三、四回、シルバー人材センターに草刈りの委託をし、維持管理に努めている。要望のあるゲートボール場の芝の張りかえは、予算措置等の問題があるため、関係部署で協議が必要と考えている。

◎議員 ぜひとも善処をお願いしたい。

## 野嵩橋三差路の横断歩道への信号機設置について

玉城健一郎 議員



◎議員 当該地域は事故が多く、また周辺に保育園があるため、早期の対応が必要と考えている。そこで、これまでに自治会等から、当該箇所への信号機設置要求があったか、お伺いしたい。

◎市民経済部長 野嵩一区自治会等から市に要請があり、その後、市から宜野湾警察署へ設置要請を行っている。

◎議員 信号機設置の進捗状況について、お伺いしたい。

◎市民経済部長 公安委員会が信号機の設置、管理を行っており、設置時期等の進捗状況について、市では把握していない。

◎議員 現状の危険を回避するために市ができる交通安全対策について、お伺いしたい。

◎市民経済部長 交通安全対策として、注意喚起の看板設置やカラー舗装化による視認性の向上等が考えられるが、いずれにしても関係機関等と連携し対応してまいりたい。

◎議員 ぜひその旨対応をお願いしたい。

## 使用料の見直しについて

伊佐光雄 議員



◎議員 本市の小中学校職員の駐車場使用料に係る条例を制定し、使用料を徴収すべきであると考えているが、いかがか。

◎企画部長 企画部、教育委員会、総務部等の関係機関では、料金を徴収する方向で現在研究しているところである。

◎議員 条例の制定、実施時期について、お伺いしたい。

◎企画部長 次年度いっぱい研究期間をいただき、平成二

十八年度からの実施を考えている。

◎議員 教育委員会に係る問題でもあるので、教育長の所見をお伺いしたい。

◎教育長 他市において職員から駐車場使用料を徴収していることは承知しており、本市においても同様な方法で駐車場を利用していただくことについて、先生方と話し合いながら検討を進めていく必要があると考えている。

◎議員 課題はあるかと思うが、いろいろとシミュレーションをしながら検討していただきたい。

## 幼稚園の預かり保育及び学童保育について

宮城 克 議員



◎議員 新年度からスタートする子ども・子育て支援新制度に伴い、五歳児の預かり保育の定員が無制限になるとのことだが、問題はないのか確認したい。

◎指導部長 預かり保育を進める上で、施設については従来どおり午前の保育室を利用するので、特に問題はない。職員配置については、二十名を超した場合、増員が必要と

なり、二十名ごとに一名の追加配置を検討している。

◎議員 午後七時までの保育時間の延長について、段階的にでも検討できないか。

◎指導部長 時間延長については、職員配置の問題もあるため、今後職員体制や環境整備が整い次第、検討したい。

◎議員 職員確保のため、近隣市町村と同等以上の賃金を設定すべきだと思うが、どのようにお考えか。

◎企画部長 適切な賃金の単価設定ができるよう、関係部署と現在検討しているところである。



平成26年4月よりケータリングが実施された預かり保育

## 上大謝名地区 学習等供用施設等 の進捗について



山城康弘議員

◎議員 同事業は平成二十六年度で完成できず、平成二十七年へ繰り越しとなるが、今後の計画をお聞きしたい。

◎市民経済部長 用地交渉に時間を要したため計画がおくれており、今後の計画は平成二十七年三月に着工し、完成は同年八月を予定している。

◎議員 当該計画が延びること、その間の仮事務所の家賃負担や自治会活動の制約な

どさまざまな支障を来すが、それに対する見解を伺いたい。

◎市民経済部長 計画のおくれで地域の皆様に多大な迷惑をかけており、大変申しわけなく思っている。今後も早期完成に向け努めてまいりたい。

◎議員 当該公民館隣の公園整備事業の進捗も伺いたい。

◎建設部長 事業費ベースで約四五％。建物補償は十二件中、九件、用地補償は約三千三百平米中、千三百平米が契約済みとなっている。

◎議員 当該事業については、自治会と連絡をとり合って進めていただきたい。

## 電柱等への各種ポスター 及び看板の設置規制 について



伊波一男議員

◎議員 選挙に係る違反ポスター等への選挙管理委員会の対応について伺いたい。

◎選挙管理委員長 選挙事務所の関係者に自主撤去の依頼を電話で行い、それでも撤去されない場合は、公職選挙法の規定により撤去命令を文書でもって通知している。

◎議員 他市町村においては、立候補者間で「違反をしないようにする」といった協議を

行っているところもあると聞

くが、把握されているか。

◎選挙管理委員長 北谷町、北中城村では「景観に配慮」「ルールを守ろう」という議

員同士の紳士協定により、景観への効果とお金のかからないクリーンな選挙を実施しているとの新聞報道もあった。

◎議員 公共物に張られているのぼりや立て看板等への対応についてもお聞きしたい。

◎建設部長 道路法に基づき適宜指導、対応している。

◎議員 きれいな宜野湾市に向け、美化条例等の整備もぜひ検討していただきたい。

## 伊利原老人福祉センター の施設管理等について



宮城 司議員

◎議員 当該施設に係る工事の進捗状況や開所予定、運営等について伺いたい。

◎健康推進部長 工事進捗率は五四・六％と予定どおり進んでいる。また、運営は赤道老人福祉センターと同時に指定管理者制度導入を検討しており、平成二十八年四月の開所になると考えている。

◎議員 当該施設の設備、講座、サークル等についてもお

聞きしたい。

◎健康推進部長 設備は赤道老人福祉センターと同様を予定しており、講座やサークル等についても、アンケート結果や利用状況を踏まえて取り入れていく予定である。

◎議員 アンケートではどのような要望があったのか。

◎健康推進部長 設備ではマッソージ機器類や電位治療器の設置、また、新規講座の開講については手芸、短歌、着付け教室などの要望があった。アンケート結果も生かして、予定どおりの開所に向け取り組んでいただきたい。

## 米軍普天間飛行場の 閉鎖、返還について



知念吉男議員

◎議員 これまで仲井眞知事と一緒に普天間基地の危険性除去、固定化であつてはならないと進めてきた辺野古への埋め立て推進施策は、知事選挙、衆議院選挙で県民、市民からノーの審判が下ったと思うが、選挙結果の見解と、これからの普天間基地の返還をどのように取り組むのか。

◎市長 県知事並びに衆議院選挙の結果は、真摯に受けと

めているが、各選挙によつて

さまざまな公約があり、複合的な要素があつたものと理解している。これからも市長として沖国大へのヘリ墜落のよう

な事故が二度と起きないよう、県や関係機関と連携し、国に対して普天間飛行場の早期閉鎖、返還とその間の危険性の除去及び基地負担軽減の実現を強く求めてまいりたい。

◎議員 これからは翁長知事とともに団結して、オスプレイの配備撤回を初め、新基地建設の断念、普天間基地の閉鎖、返還を日米両政府に対し訴えてもらいたい。

## 高齢者保健福祉計画 ・介護保険事業計画 について



岸本一徳議員

◎議員 認知症高齢者対策について、国の法改正により認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援推進委員会等設置事業など、さまざまな事業展開が想定されるが、どのように取り組んでいくのか。

◎健康推進部長 認知症地域支援推進委員会において、認知症の人が住みなれた環境で暮らし続けることができるよう、地域の支援機関をつなぐ連携

支援や、認知症の人とその家族を支援する専任の連携支援相談等を行う。今後、同委員会を中心に認知症初期集中支援推進事業、認知症ケアパスの作成等を展開してまいりたい。

◎議員 本市の要支援、要介護認定者のうち、認知症高齢者が七一・四％を占めている。しっかりとした対策を講じなければならぬと考えているが、市長の見解を伺いたい。

◎市長 認知症対策の必要性を認識しており、効果的な対策に努めたいと考えている。

## 学校メールの運営と 教育委員会の かわりについて



呉 屋 等議員

◎議員 学校メールの実施状況と加入率、配信内容を伺いたい。

◎指導部長 現在、市内小学校十三校のうち十二校が導入している。実施状況は、「ほぼ毎日使用している」が一校、「必要に応じて使用している」が十一校、平均加入率は六〇％となっている。また、具体例としては、二〇〇九年に発生した新型インフル

エンザの注意喚起を保護者へ

いち早く配信することで感染拡大を防止することができた。

◎議員 過去五年間で百十六件の不審者情報が配信されており、子供たちの安心、安全を守るために活用しているとのことである。そこで、運営経費について、教育委員会の

予算で負担できないものか。

◎教育長 学校メールにかか

る効果性は非常に大きくなつており、教育委員会としても検討させていただきたい。

◎議員 有効に活用されているメールのため、ぜひ経費的な負担をお願いしたい。



### 市議会の活動状況(平成26年分)

#### 1. 定例会・臨時会の開催等について

区分		会期日数	本会議数	一般質問日数	質問者数	傍聴人数
定例会	3月定例会	30日間	15日間	6日間	26人	63人
	6月定例会	15日間	7日間	4日間	19人	33人
	9月定例会	19日間	9日間	5日間	21人	59人
	12月定例会	20日間	8日間	4日間	19人	31人
	小計	4回	84日間	39日間	19日間	85人
臨時会	3回	3日間	3日間			0人
年間合計	7回	87日間	42日間	19日間	85人	186人

#### 2. 各委員会の会議日数等について

委員会名	内訳	委員数	委員会開催日数		
			会期中	閉会中	合計
総務常任委員会		9人(10人)	11日間	5日間	16日間
経済建設常任委員会		8人(7人)	11日間	0日間	11日間
福祉教育常任委員会		9人(8人)	11日間	2日間	13日間
議会運営委員会		10人	13日間	3日間	16日間
基地関係特別委員会		10人	6日間	0日間	6日間
議会改革に関する調査特別委員会		10人	5日間	3日間	8日間
全員協議会		27人(26人)	2日間	0日間	2日間
合計			59日間	13日間	72日間

※（ ）内は改選後(H26年9月以降)の委員数

### 議会改革研修会

本市議会では、議会基本条例の策定を視野に入れ、議会機能の更なる充実強化を図るため、改選後も引き続き、議会改革に関する調査特別委員会を設置しています。

去る二月十二日には、沖縄国際大学法学部の前津榮健教授を講師に迎え、「議会改革と議会基本条例について」をテーマに研修会を開催し、地方自治法改正に伴う自治体議会の役割、議会改革事例、議会基本条例制定に向けての留意事項等について講義が行われました。



### 米軍ヘリAH-1Wの装備品落下事故 に対する抗議決議

去る1月15日、米軍基地普天間飛行場所属のヘリAH-1Wスーパーコブラが渡名喜村の出砂島射撃場(入砂島)の南西海上に金属製のミサイル発射装置等、3つの装備品合計208kgを落下させるという事故が発生した。その後、装備品は落下ではなく、何らかの理由で投棄したとのことである。

AH-1Wヘリは日常的に市街地上空を旋回していることから、一歩誤れば人命に関わる重大な事故につながりかねない。

また、AH-1Wヘリは、昨年3月に沖縄本島沖合で揚陸艦への着艦に失敗、同年8月に燃料キャップを紛失する事故、さらに9月にはねじ及び係留用の部品を紛失している。

昨年1年間で、これだけのトラブルが確認されたにもかかわらず詳細な原因を明らかにしないまま、米軍は訓練を続けており、米軍の安全管理体制に対する危機意識の欠如は明白であり、通り一遍の再発防止策ではない抜本的な対策が必至である。

本市議会は、これまでこのような事故が発生するたびに再発防止及び綱紀粛正の徹底を米軍及び関係機関へ幾度となく強く申し入れてきたが、またしてもこのような事故が起きたことに対し、事故後の効果ある再発防止策が講じられているのか甚だ疑問であり、激しい憤りを禁じ得ない。

よって、本市議会は、市民・県民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、今回の米軍ヘリAH-1Wの装備品落下事故に対し、厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

#### 記

1. 同型ヘリの飛行を即時中止し、事故原因の結果を早急に公表すること。
2. 住宅地域上空での飛行訓練を即時中止すること。
3. 日米地位協定を抜本的に改定すること。
4. 普天間飛行場の即時閉鎖、早期返還を実現すること。

以上、決議する。  
平成27年1月30日

沖縄県宜野湾市議会

### 学校給食視察

教育委員会より「全国学校給食週間」に向けた取り組みとして学校給食状況視察(学校訪問)を実施するに当たり、議長及び副議長、福祉教育常任委員会の委員が、児童・生徒とふれあいながら、学校給食の意義と役割について理解と関心を深めました。

また、学校給食の実情を把握し、今後の学校給食の充実、発展に役立てられるよう視察、懇談を行いました。

#### \*視察校及び日程

- ◇真志喜中 1月26日
- ◇はごろも小 1月27日
- ◇普天間第二小 1月28日



## 第387回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第68号	平成26年度宜野湾市一般会計補正予算（第5号）	原案可決(全会一致)
議案第69号	平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決(全会一致)
議案第70号	平成26年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決(全会一致)
議案第71号	平成26年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決(全会一致)
議案第72号	平成26年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決(全会一致)
議案第73号	平成26年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決(全会一致)
議案第74号	平成26年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算（第3号）	原案可決(全会一致)
議案第75号	平成26年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決(全会一致)
議案第76号	宜野湾市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第77号	宜野湾市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第78号	宜野湾市手数料の見直しに係る関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第79号	宜野湾市使用料の見直しに係る関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第80号	宜野湾市住民基本台帳カード利用条例を廃止する条例について	原案可決(全会一致)
議案第81号	宜野湾市指定介護予防支援事業者の指定等に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第82号	宜野湾市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第83号	宜野湾市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第84号	宜野湾市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第85号	宜野湾市特別養護老人ホーム等の設置に関する条例及び宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計条例を廃止する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第86号	宜野湾市立幼稚園保育料等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第87号	特別養護老人ホーム宜野湾市福寿園建物の処分について	同意(賛成多数)
議案第88号	特別養護老人ホーム宜野湾市福寿園市有地の処分について	同意(賛成多数)
議案第89号	(仮称)伊利原老人福祉センター新築工事（建築）の議決内容の一部変更について	同意(全会一致・退場2名)
認定第1号	平成25年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	平成25年度宜野湾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第6号	平成25年度宜野湾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第8号	平成25年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
陳情第4号	平成27年度幼稚園就園奨励費補助金に関する陳情	採択(全会一致)
陳情第11号	公共工事発注に際しての事業用自動車（緑ナンバー）使用に関する陳情	採択(全会一致)
陳情第15号	本会議（議会開会中）の各自治会（公民館）への映像配信について	審議未了
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第10号 期日前投票所を大規模集客施設へ設置することについて 陳情第14号 徒歩による津波避難ルートの追加について	承認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第13号 耐震診断費用の自己負担軽減について	承認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第3号 軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情 陳情第5号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情 陳情第6号 幼稚園教育の制度改善について 陳情第7号 「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める陳情 陳情第8号 「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情 陳情第12号 平成27年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第16号 受動喫煙防止条例の制定等受動喫煙防止諸施策の強化を求める陳情	承認 (福祉教育常任委員会)

## 第386回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第64号	平成26年度宜野湾市一般会計補正予算（第4号）	原案可決(全会一致)
議案第65号	平成26年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決(全会一致)
議案第66号	平成26年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算（第2号）	原案可決(全会一致)
議案第67号	宜野湾市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
報告第17号	交通事故による和解等に関する専決処分の報告について	報 告
報告第18号	台風災害による物損事故の和解等に関する専決処分の報告について	報 告
報告第19号	道路施設における車両事故の和解等に関する専決処分の報告について	報 告

## 第388回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
決議案第1号	米軍ヘリAH-1Wの装備品落下事故に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第1号	米軍ヘリAH-1Wの装備品落下事故に関する意見書	原案可決(全会一致)
議案第1号	平成26年度宜野湾市一般会計補正予算（第6号）	原案可決(賛成多数)
議案第2号	宜野湾市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)